

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	まなびクラブ武蔵中原		
○保護者評価実施期間	2/2/2026		2/15/2026
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	37人	(回答者数) 21人
○従業者評価実施期間	2/2/2026		2/15/2026
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10人	(回答者数) 9人
○事業者向け自己評価表作成日	2/15/2026		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの特性や発達段階に応じた個別支援の実施	アセスメントを丁寧に行い、個別支援計画を職員間で共有し、計画に基づいた支援を実施している	支援事例の振り返りや検証を継続し、支援の質のさらなる向上を図る
2	子どもが安心して通所できる環境づくり	子どもの気持ちに寄り添った関わりや、落ち着ける空間づくりを意識している	年齢や成長に応じた活動内容や環境調整を行い、より過ごしやすい環境を整える
3	職員間の連携と、チームとしての支援実施	日々の打ち合わせや情報共有を行い、支援方針の統一を図っている	外部研修や第三者の視点を取り入れ、支援力の底上げを図る

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	物理的なスペースに限りがあり、混雑時に狭さを感じやすい	利用児童数や児童の成長により、活動スペースの確保が難しく感じる場面がある	活動時間や人数調整、活動内容の工夫により安全で落ち着いた環境を確保する
2	地域との交流や地域資源の活用が十分とはいえない	安全面への配慮や機会の少なさにより、地域との関わりが限定的になっている	無理のない範囲で地域行事や関係機関との連携を検討していく
3	保護者同士の交流や家族支援の機会が少ない	個別対応が中心となり、複数人での交流の場を設ける機会が少ない	保護者向けの情報提供や、負担の少ない形での交流機会を検討する

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		公表日		2026年 2月 19日		
まなびクラブ武蔵中原						
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	5	定員に対して狭いが、時間や項目による構造化、プログラムや遊びの種類ごとに部屋分けするなど、同時利用人数を調整し、過密にならないよう配慮している。	特に平日はスペースが狭く感じる少しギリギリかなと思う学年が上がりに、体も大きくなっている為、狭いと感ずることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2	こどもの障害特性や行動面を考慮し、必要に応じて加配配置や役割分担を行っている。	プラス1名配置があると良いと感じることがある
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	1	既存施設の構造上バリアフリーは難しいが、空間を構造化し、児童や職員にとっても見通しが立ちやすいよう視覚的にも掲示を行ってこどもが理解しやすい環境を整えている。	空間や広さによって、遊びの工夫が必要な場面がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9		毎日の清掃と定期的な消毒を行い、活動内容に応じて机配置等を調整している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	1	クールダウンや個別に話が聞けるように、職員と相談した上で配慮した場所が提供できるようにしている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	9		日々のミーティングで目標設定と振り返りを行い、職員全体で業務改善に取り組んでいる。特に振り返りを元に次回どのような対応をするかに重点を置いている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		昨年度の評価表を元に業務の改善を行っている。広報などで周知されていない部分に関しては今後引き続き公開の機会を設けていく。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	プログラム会議や振り返りの情報共有の場や業務改善提案の機会を日々の業務に組み込んで実施している。意見について職員全員で相談した上で方法を検討し、業務へ繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	4	第三者による評価は現在行っていない。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	2	外部研修への参加や法人内研修、施設内研修を実施し、職員の資質向上を図っている。	法人としてもっと研修の機会が必要と感じる。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		現在の児童にとって必要な取組みや課題を元に、目標や目的を共有した上でプログラムを構成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	9		面談時にニーズの把握をした上で、現在の児童の状況なども複合的に考慮し計画を作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		児童発達支援管理責任者だけが評価検討をするのではなく、児童にとっての最善を考え全職員が参画できるようにしている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		アプローチ方法や支援の方針について、日々共有し、計画に沿った形で支援を進めている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9		フォーマルアセスメントは行っていないが、日々の記録と行動観察を通じて、こどもの適応行動を継続的に確認している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		アセスメントを元に必要な項目を定めて、本人支援・家族支援・移行支援・地域連携を意識した支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		プログラム会議の時間を設け、各職員の分担も含めて5領域にも配慮し立案を行っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		児童が楽しんで取り組める内容を目指し、仮に似たような内容であっても、課題に対して何を目的とするのかを都度考慮しながらプログラムを設定している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	9		こどもの状態に応じて個別活動と集団活動を組み合わせている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		当日の流れや役割分担を必ず事前に確認している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		支援終了後に必ず気づきや課題を共有している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		支援内容を毎日記録し、支援の検証に活かしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		定期的に計画の見直しを行い、実際の支援に繋げている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	9		複数の基本活動を組み合わせた支援を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	9		こども自ら職員へ相談したり、活動内容を選べる機会を設け、自己決定を促している。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		こどもの状況を理解している職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		必要に応じ、医療・学校・福祉等と連携体制の取れる形を整えている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	9		下校時刻や行事予定等の情報共有を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	4	現在は無いが必要に応じて設定していく。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	2	必要に応じて次のサービスへ支援内容を引き継いでいく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	4	必要に応じて研修を受けていく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	8	現在は機会を設けていない。	
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	5	4	会社単位で参加している。		

	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達 の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		面談時や日々の記録を通じて日々の様子 を伝え合い共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援 プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加 できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	5	プログラムとしては実施していないが必 要に応じて実施していきたい。 参加できる機会は設けていないが、療育 観点からのアドバイスは職員から行っ ている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説 明を行っているか。	9		契約時に丁寧に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護 者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏 まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか 。	9		支援者側からの意見に偏り過ぎないよ う、都度こどもや保護者の意向を確認し ている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明 を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得て いるか。	9		面談時に計画を説明し、同意を得るよ うに努めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面 談や必要な助言と支援を行っているか。	9		必要な際は相談に応じ、助言や具体的 な提案を行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等 により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をして いるか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の 支援をしているか。	5	4	保護者同士の交流の機会はなかったが、 児童の普段の様子を参観できる機会は何 度か設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備する とともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅 速かつ適切に対応しているか。	9		随時対応体制を整えている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用するこ とにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこども や保護者に対して発信しているか。	8	1	日々の記録を含め、HPでも情報提供を行 っている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		個人名の入った書類の扱い等、個人情報 に留意し、管理を行っている。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため の配慮をしているか。	9		視覚的に示すなど、障害特性に応じた伝 達方法を工夫している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業 運営を図っているか。	1	8	現在、安全性等も含め行ってないが、 地域のイベント等への参加は引き続き行 ってきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マン ュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知 するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		マニュアルを整備し、具体的な行動がで きるよう訓練を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生 に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている か。	9		BCPを策定し、避難訓練等を実施してい る。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況 を確認しているか。	8	1	事前に情報を把握する時間や仕組み設 け、適切に行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づ く対応がされているか。	9		医師の指示書ではないが、インターク時 の情報や、フェイスシート記載内容を都 度共有し、アレルギーには細心の注意を 払っている。 把握は打ち合わせで毎日行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必 要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行わ れているか。	9		安全計画を策定し、研修・訓練を実施し ている。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよ う、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知してい るか。	9		非常時の避難場所や連絡先について周知 している。	

52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		必ず振り返り時に事業所内で共有し再発防止を検討している。	
53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		研修を実施し、意識向上を図っている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	9		やむを得ない場合の対応を定め、事前説明と計画への記載を行っている。	